

一般質問通告一覧表
(令和4年3月定例会)

通告番号	氏名
通告1番	菊池美知男
通告2番	乾 初美
通告3番	渡辺 実
通告4番	瀬谷 寿一
通告5番	増子美知夫
通告6番	根本 重泰
通告7番	瀬谷 京子



令和4年第1回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 1 番

令和4年 2月22日 午前11時 8分 受付

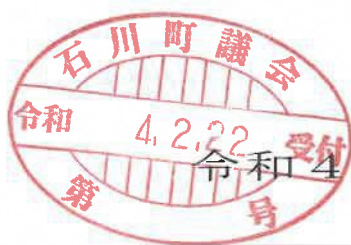
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和4年 2月22日

質問者 3 番議員 菊池 美知男

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1. 新年度の予算及び重点事業について	本町における事務事業の根幹である第6次総合計画に基づく予算編成にあたっての新年度方針について伺う。 (1) 限りある財源の中、予算編成にあたって特に重要視した点について (2) 特色のある事業について (3) 町民ニーズを反映した事業について	町長 総務課長
2. 新型コロナウイルス感染症対策について	長引く新型コロナウイルス感染症による影響及び対策について伺う。 (1) 感染症予防対策と予防接種の状況及び今後の取り組みについて (2) 経済活動に与える影響と支援策及び生活困窮者に対する支援策について (3) 学校におけるクラスター発生時のオンライン授業の考え方について (4) 保育所におけるクラスター発生時の保護者への対応について	町長 教育長 保健福祉課長 教育課長
3. 道の駅について	町長公約の一つである道の駅は、令和7年の開業を目指して準備が進められているが、改めてその必要性や町の財政負担について伺う。 (1) 本事業の必要性について (2) 建設費用や将来の財政負担をどの様に想定しているのか (3) 道の駅の特色や独自性をどの様に考えているのか (4) 積極的な集客をどの様に行うのか	町長 農政課長



令和4年第1回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 2 番

令和4年 2月22日 午前 11時25分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和4年 2月22日

質問者 1 番議員 乾 初美

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1. 認定こども園整備事業について	本年1月、町立認定こども園基本構想案が示されたが、単に施設整備だけでなく、運営体制についても議論が尽くされるべきである。そこで、次の点について町の考えを伺う。 (1) 認定こども園の運営体制について	町長 教育長 教育課長
2. 本町における不登校支援とスペシャルサポートルーム事業について	来年度から、新規事業としてスペシャルサポートルーム事業が始まると聞いている。不登校、あるいはその傾向を持つ小・中学生に対する支援事業であるが、次の点について伺う。 (1) 本町における児童・生徒の不登校の実態把握について (2) 本町で新たにスタートするスペシャルサポートルーム事業の概要と今後の方針について	町長 教育長 教育課長
3. ファミリーサポートセンター事業について	石川町ファミリーサポートセンター事業が始まって1年が経つが、預かり会員不足や預かり場所について課題があると考えます。そこで、次の点について伺う。 (1) 石川町ファミリーサポートセンター事業の現状と課題について	町長 教育長 教育課長



令和4年第1回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 3 番

令和4年 2月22日 午前11時59分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和4年 2月22日

質問者 9 番議員 渡辺 実

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 認定こども園建設予定地の安全性について	<p>昨年12月21日、政府は日本海溝・千島海溝沿いでマグニチュード9級の巨大地震が起きた場合、最大で19万人が死亡、22万戸が全壊するとの被害想定を公表した。更に、1月18日、30年以内の地震発生確率の予測では、宮城県沖で(マグニチュード7.4前後)「70～80%」と公表した。</p> <p>毎年のように大雨や地震による自然災害が発生している今日の情勢から見て、旧石川小学校跡地への建設は回避すべきと考える。そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 政府の日本海溝巨大地震予測を受け、旧石川小学校跡地の危険性をどのように認識しているか</p> <p>(2) 子ども送迎時の安全対策について</p> <p>(3) 認定こども園建設場所変更の考えはあるか</p>	町長 教育長 教育課長
2. 水害に強い町づくりとまちなか再生に向けて	<p>台風第19号により、多くの家屋が浸水し、甚大な被害を被った。多くが復旧されてきたが、解体され、空き地となっているところも多い。水害に強い町づくりの対策が実施され、市街地復興再生への計画も進むものと考えられており、具体的な対策が求められている。そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 市街地の解体家屋及び空き家状況について</p> <p>(2) 水害に強い町づくりに向けた施策について</p> <p>(3) まちなか再生行動計画の考えについて</p>	町長 生活環境課長 企画商工課長

3. 墓地公園の建設に向けて	町民の要望を受けて、墓地公園予定地を購入したが、水害発生により、ごみ保管場所として使用してきた。早期に墓地公園建設を進めるべきと考える。そこで、次の点について伺う。 (1) 墓地公園建設の考えについて (2) 今後のスケジュールについて	町長 生活環境課長
----------------	--	--------------



令和4年第1回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 4 番

令和4年 2月24日 午前10時6分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

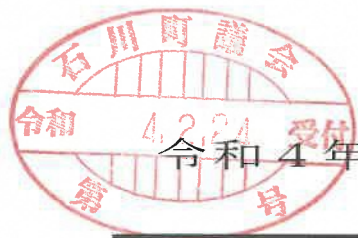
令和4年 2月24日

質問者 5 番議員 瀬谷 寿一

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1. 移住定住について	<p>近年は人口減少や出生数低下が深刻である。</p> <p>町長は、年始でのあいさつで職員に過疎地域指定脱却への協力を呼びかけたと聞いたが、即効性の高い施策は、移住・定住施策である。そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 交流人口、関係人口増施策及び若者の移住・定住施策（住宅地の整備、空き家対策）について</p>	町長 企画商工課長 都市建設課長
2. 観光情報発信力について	<p>これまで情報発信力が弱いとされているが、町長は、歴史、鉱物、風景、特産品を町の宝として強く発信したいとしている。そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 情報発信の中心組織である観光物産協会の法人化の進捗状況について</p> <p>(2) 情報発信の手法と観光案内の受け入れ体制について</p>	町長 企画商工課長
3. 道の駅整備計画について	<p>今般の大水害やコロナ禍の中、さらには、道の駅の全国的な経営不振などから「道の駅」整備への町民の期待感が、徐々に下がっているように思われる。まだ、整備予定地の調査中であり、明確な計画が決定していない状況である。そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 道の駅計画の進捗状況と今後の進め方について</p> <p>(2) DBO方式のメリット・デメリットについて</p>	町長 農政課長

	<p>(3) 本町の道の駅は、「食」に特化している。 更なる魅力アップのため、ゲートウェイ機能の充実など「食」以外の取り組みや考え方について</p> <p>(4) 道の駅整備を推進するためには、強い推進体制が必要と考えるが、役場内や生産団体の体制づくりについて、どのように考えているか</p>	
--	--	--



令和4年第1回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 5 番

令和4年 2月24日 午前〃〃時 5分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和4年 2月24日

質問者 7 番議員 増子 美知夫

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 小学5.6年生対象の「教科担任制」について	文科省は、今春から本格的に「教科担任制」を始めるが、導入する目的は授業の質向上と教員の負担軽減で、働き方改革にも役立つとされている。英語、理科、算数、体育の4教科が中心となるこの制度の取り組みについて伺う。 (1) 文科省が始める「教科担任制」について (2) 先行して制度を導入している自治体も多くやり方もまちまちだが、本町がこの制度を導入するための課題とその対応策について	教育長 教育課長
2. 出生数の減少について	本町の出生数は、平成26年100人台から3年後の平成29年から一挙に60人台で推移している。 直近の町内6地区の出生数は、2地区4人、1地区7人、1地区8人と、1桁台の少数地区が4地区と、じわじわと子どもが減っており、比例して各地区の活力も衰退している。この傾向化している本町の重要問題について伺う。 (1) 減少を歯止めするための、短期・中期的政策について	町長 企画商工課長
3. 自主防災組織の結成について	町内全地区に災害発生時に地域住民と連携しお互いの身を守るための自主防災組織結成が進められているが、次の点について伺う。 (1) 各地区が自主防災組織を設立する活動に於いて、難問に直面した際の、町の支援体制について (2) 地区の自主防災組織を設立し、必要な防災用資機材も準備できた段階での、防災訓練など本格的な防災活動とその開始時期について	町長 総務課長



令和4年第1回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 6 番

令和4年 2月24日 午前11時25分 受付

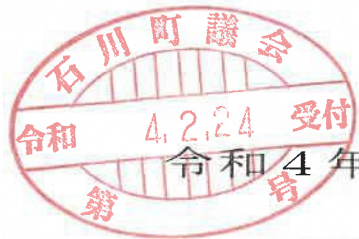
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和4年 2月24日

質問者 4 番議員 根本 重泰

石川町議会議長 草野 伝明 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1. デジタル田園都市構 想について	昨年、国は地方創生の施策として「デジタル田園都市国家構想」を掲げ数々の事例を提示し、事業募集を始めた。コロナ禍の中、デジタル技術を応用し地方の産業の空洞化、人口減少、教育の機会、暮らしやすさの課題解決を目指す取り組みであり、石川町の将来を守る取り組みと言っても過言ではないと考える。また、地域の課題を解決するための「デジタル実装」を表記している。 いち早い取り組みを求めて、次の点について伺う。 (1) 本町の「デジタル田園都市構想」の取り組みについて	町長 所管課長
2. 石川町観光物産協会の法人設立について	今は、情報の時代である。石川町の魅力、農・商・工・観の地場産品の数々を知っていただく情報の発信が重要視されている。町の施策として、石川町観光物産協会が法人を目指すことが公表され、地域おこし協力隊が採用された。法人化への現状と今後の進め方について伺う。 (1) 法人設立までのロードマップについて (2) 現状と課題について (3) 設立後の事務所設置場所について	町長 企画商工課長



令和4年第1回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 7 番	令和4年 2月24日 午前 11 時 55 分 受付	
<p>次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。</p> <p>令和4年 2月24日</p> <p>質問者 10 番議員 瀬谷 京子</p> <p>石川町議会議長 草野 伝明 殿</p>		
件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 「町長との対話の日」について	<p>町長の選挙公約の一つである「町長との対話の日」は、町民が町長と個別に意見や提言を述べられる機会として期待され、3年が経過した。その実績を伺う。</p> <p>(1) 町長との対話の日の回数及び内容について</p> <p>(2) 意見、提言が町政に反映された件数と内容について</p> <p>(3) 対話者が減少傾向に見受けられるが、要因は何と考えるか</p> <p>(4) 対話者に対する対話後の対応はどのようにしているのか</p>	町長 総務課長
2. まちなかの再生と空き地・空き家対策について	<p>令和元年の台風被害により、解体を余儀なくされ、公費解体だけでも181棟、うち旧町内が130棟にのぼり、町外転出が12件あった。空き地、空き家が顕著になり、街並みの体をなしていない。また、今出川改修に伴う影響も考慮しなければならない。</p> <p>以前からまちなか再生を謳っているが、早急な計画と対策が必要と思うが考えを伺う。</p> <p>(1) 旧町内の空き地、空き家の現状について</p> <p>(2) 遠方の所有者の意向確認について</p> <p>(3) 今出川改修により影響を受ける方への対応について</p> <p>(4) まちなか再生のため、将来のまちなか像を掲げ計画的に実現する考えはあるのか</p>	町長 企画商工課長 都市建設課長